

タイムキーパーの職権と任務（フットサル競技規則 第6条 その他の審判員 P47～P50）

● 第7条の規定に基づき、次により試合時間を確保する

- ー各ピリオドの最初のキックオフが正しく行われた後に時計を進める
- ーボールがアウトオブプレーになったときに、時計を止める
- ーキックイン、ゴールクリアランス、コーナーキック、キックオフ、フリーキック、ペナルティーキック、またはドロップボールの後に、再び時計を正しく進める
- 得点の後、ペナルティーキックまたはフリーキックが与えられた後、もしくは競技者が負傷した後の時計を止める
- 主審・第2審判が止めるように合図したときに、時計を止める
- 大型スコアボードが設置されている場合、得点、累積ファウルおよび各ピリオドを表示する
- チームからの要求されたタイムアウトについて、第3審判から知らされた後、主審・第2審判が用いるものと異なった笛や音で合図する
- 1分間のタイムアウトを計測する
- 1分間のタイムアウトの終了を、主審・第2審判が用いるものと異なった笛や音で合図する
- 第3審判から知らされた後、各チーム5つ目の累積ファウルを、主審・第2審判が用いるものと異なった笛や音で合図する
- チームが少ない競技者数でプレーする2分間を計測する
- 第1ピリオドの終了および試合の終了ならびに延長戦が行われるときにはその各ピリオドの終了を主審・第2審判が用いるものと異なった笛や音で合図する
- 必要に応じ、フットサル審判員のための実践的ガイドラインの関係個所に示されるように、ピッチ横にポジションをとる
- リザーブ副審が割り当てられておらず第3審判が置かれていないとき、第3審判が行うべき任務を果たす
- 試合に関するその他の情報を提供する

タイムアウト

チームは、各ピリオドそれぞれ1回、1分間のタイムアウトをとることができる

次の条件が適用される

- チーム役員は、第3審判に、また、第3審判がいない場合はタイムキーパーに事前に渡された用紙を用いて、1分間のタイムアウトを要求することができる
- タイムキーパーは、ボールがアウトオブプレーでタイムアウトを要求しているチームがボールを保持しているときに、主審・第2審判が用いるものと異なった笛や音で合図し、タイムアウトを与える
- タイムアウト中、
 - ・ 競技者は、ピッチ内にも、ピッチ外にもいることができる。ただし、競技者は、飲水のためにピッチから離れなければならない
 - ・ 交代要員は、ピッチ外にいないなければならない
 - ・ チーム役員がピッチ上で指示を与えることは、認められない
- 交代は、タイムアウト終了を示す音や笛で合図されたのち行うことができる
- チームが試合の第1ピリオドにタイムアウトを要求しなかった場合でも、第2ピリオドにタイムアウトを取ることができるのは1回だけである
- 第3審判、タイムキーパーのいずれもがいない場合、チーム役員は主審・第2審判にタイムアウトを要求することができる
- 延長戦が行われた場合、延長戦でのタイムアウトは認められない